

3日の土曜日開催したクリスマス保護者会には、お忙しい中にもかかわらず大勢の皆様にお集まり頂きましたこと、クリスマスの真実(ほんとう)の意味について、ひと時 想いを馳せ分かち合えましたこと、心より感謝致します。アンケートの御協力も ありがとうございます。皆様からの 温かなお気持ちが伝わってきました、スタッフ一同 大変嬉しく読ませて頂きました。

保護者会でもお話した通り、全世界のキリスト教会では、クリスマスを待つ準備の4週間『待降節』(アドベント ウィーク)を先月27日(日)から 祈りとともに 過ごしていますが つのぶえでは 24日のクリスマス礼拝に合わせた関係で 12/2(金)から今年のアドベントが始まりました。1週ごとに キャンドルが1本ずつ、アドベントクランツに立てられていく中で 温かさも明るさも増していく優しい炎は、見つめる私達の心に灯され、美しく瞬く星のように輝く光に満ち、クリスマスの訪れを待つ1人1人の心に 安らかな喜びとなって注がれています。

早いもので今日はもう 3本目のキャンドルに 火が灯されました。3つの温かく静かな炎は子ども達も大人達も皆の心を一つにし、神様の御手の中で そっとくられた想いになりました。

クリスマスは、イエス・キリストのお誕生によって 私達の目には見えなかった神様の存在と私達に対する神様の愛が明らかにされた日です。人となられたイエス・キリストの姿を通して神様がどれほどこの世を愛されているか、その深い思いを理解し 信じられるようになりました。待つという想いは、信じるからこそできる 素直な心への 神様からの祝福の証であり 希望です。今年もこうして、愛する子ども達と共に クリスマスを待つ喜びに満たされたアドベントの時を嬉しく楽しく 何よりも穏やかに笑い合い 祈り合って過ごせますこと、心から感謝しています。

思えば、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻が始まったのは 2022年が始まってすぐの2月のことでした。悲惨な争いは 今も続いています。戦争は 人災であり、最も大きな罪です人は 人を殺めるために生まれてきたのではないのに何故!?!と、悲しく憤りに溢れた1年でした。神様が願い続けておられる 愛と平和に満ちた心優しい世界を 子ども達にささげなければ!と、幼な子達の未来を切に祈り、人としての使命と大人としての矜持を 胸に刻み直した1年でした。イエスさまは、私達1人1人の心に「光(Light)」「命(Life)」「愛(Love)」を与えるために誰一人として欠けることなくすべての人が神様に愛され生かされていることを知らせるために神様のもとから この地上に降りて来られ、私達と同じ人間として、共に生きてくださいました。

「わたしは どんな時もあなたがたのそばにいるよ。あなたがたを見つめ、守り、愛しているよ。だから 人間達よ、いつも優しく在りなさい。互いに大切な命として支え合い、愛し合いなさい。」クリスマスは、イエスさまに託された 神様の このメッセージに立ち返る日なのだと思います。今もなお 悲惨な戦いの中で苦しんでいる人々、大人達の犠牲となり泣き続けている子ども達にどうか 神様の大きな平安と慰めと豊かなお守りが 注がれますように、心からお祈りします。また、世界中のすべての人の心の中に クリスマスの愛の光が灯され 分かち合えますように…そして、今年の つのぶえ保育園のクリスマス礼拝も、いるか組7名の ページェントを通して 2022年前の本当の出来事に心を馳せ、神様の愛を感じ合い 喜び合う時を過ごせますように…

「わたしは、光として世に来ました。わたしを信じる者が、

だれも 闇の中にとどまることのないためです。(ヨハネ12:46)」 (石田 記)